様式第１４号（第35号関係）　【記入例】

(1)

指定可燃物の 貯蔵 取扱い (変更)届出書

(2) 年　月　日

(3)
(あて先)千葉市消防長又は千葉市　　　消防署長

(4) 届出者
住　所
氏　名

(1)
千葉市火災予防条例第46条第1項の規定により指定可燃物の 貯蔵 取扱い (変更)を届け出ます。

貯蔵又は取扱いの場所	所在地	(5) 連絡先電話番号　—　— 連絡先電子メールアドレス　@	
	名称	(6)	
貯蔵・取扱いの状況	目的	(7)	
	品名	(8)	
	最大数量	(9)　kg m^3	条例別表数量の　(10)　倍
	貯蔵又は取扱い所の位置	(11)	
	貯蔵又は取扱い所の構造	(12)	
	作業概要	(13)	
消防用設備等又は特殊消防用設備等		(14)	
貯蔵・取扱い開始（変更）年月日		(15)　年　月　日	
その他		(16)	

※受付欄	※経過欄

備考
1　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番としてください。
2　届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。
3　貯蔵又は取扱いの場所の位置、構造及び設備並びに集積の概要を明示した図面を添付してください。
4　※印欄は、記入しないでください。

【 記 入 例 】

項目	記入要領
(1)届出区分	届出に係る区分以外を横線で消します。
(2)年月日	実際に提出する年月日（和暦）を記入します。
(3)宛先	貯蔵し、又は取り扱う場所を管轄する消防署長宛てとし、「千葉市消防長又は」を横線で消します。 中央区 → 千葉市中央消防署長　花見川区 → 千葉市花見川消防署長 稲毛区 → 千葉市稲毛消防署長　若葉区 → 千葉市若葉消防署長 緑　区 → 千葉市緑消防署長　美浜区 → 千葉市美浜消防署長 ※石油コンビナート等災害防止法における特定事業所が届出する場合は、千葉市消防長宛てとし、「千葉市　　消防署長」を横線で消します。
(4)届出者	貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。
(5)所在地	貯蔵又は取扱いの場所の住所及び連絡先電話番号を記入します。電子メールアドレスは任意で記入します。
(6)名称	貯蔵又は取扱いの場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。
(7)目的	指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う目的を記入します。
(8)品名	指定可燃物の品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。 【例】・可燃性液体類（大豆油）
(9)最大数量	1日のうちで、貯蔵し、又は取り扱う指定可燃物の最大となる数量を記入します。
(10)条例別表の倍数	最大数量をもとに、その倍数を記入します。
(11)貯蔵又は取扱い所の位置	屋外、屋内、屋上、その他のうち該当するものを記入し、当該位置に名称がある場合はその名称を記入します。 【例】・屋外、駐車場脇
(12)貯蔵又は取扱い所の構造	「別紙のとおり」とし、別紙に詳細図面等を添付してください。
(13)作業概要	屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記します。 【例】・屋外貯蔵、処理業者が搬出するまでコンテナに納めて貯蔵する。
(14)消防用設備等又は特殊消防用設備等	消防用設備等の種類と設置数を記入します。 【例】・粉末消火器　10型　2本
(15)貯蔵・取扱い年月日	貯蔵又は取扱い開始（変更）予定年月日を記入します。
(16)その他	変更届出の場合は、貯蔵・取扱い開始年月日及び届出番号を記入します。 その他必要な事項があれば記入します。

※貯蔵又は取扱いの場所の位置、構造及び設備並びに集積の概要を明示した図面を添付してください。